



令和3年7月16日

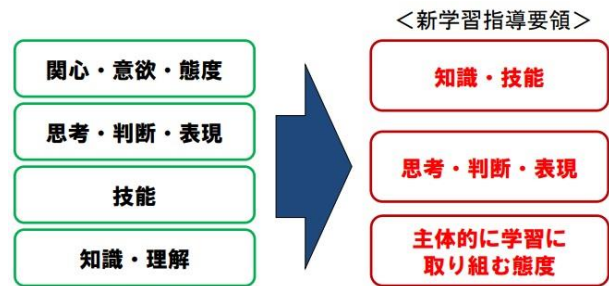
# 蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校  
文責：校長 柿林 浩彦

第17号

## 各教科の評価・評定が変わります

学校の授業や行事の内容は、国が定める学習指導要領に基づいて行われています。この学習指導要領は約10年に1度改訂され、中学校は今年度から新しい学習指導要領が実施されています。今回の新しい学習指導要領の大きな特徴は、各教科で学習する内容を「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱ですべて整理したことです。そのことによって、学習内容の定着を評価する観点別学習状況評価（以下「観点別評価」と言う）は、従来の4つから「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つに変更されました。

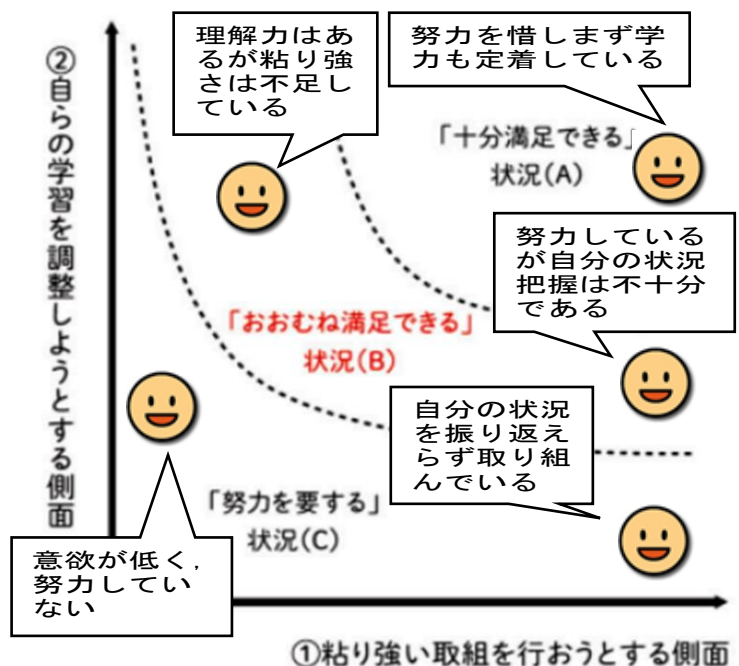


新しい観点別評価の「知識・技能」「思考・判断・表現」の2点は、従来の「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」とほぼ同じですが、「主体的に学習に取り組む態度」は従来の「関心・意欲・態度」とは少し違います。

「主体的に学習に取り組む態度」は、①学習に粘り強く取り組んだか、②効果的な学習へと調整しているか、の2面から評価します。

例えば、課題をすべて提出したが答えを写すだけのよう、内容を振り返らずに取り組んだ場合は満足できる状況とは言えません。

具体的には、右の図を参考にしてください。つまり、自分の学習状況（理解度）を振り返ることによって、学習方法を見直すこと。そして、学習方法を工夫しながら粘り強く取り組むことによって、学力を身に付けることが求められています。



そして、新しくなった観点別評価を、妥当性・信頼性のある評価にするため、本校では評価方法を今年度から次のように改善しています。

- (1) 中間試験を廃止し、その代わりに、単元試験や活用力試験を実施する。
- (2) 「振り返りシート」を使って自分の学習状況を振り返り、「主体的に学習に取り組む態度」を丁寧に評価し指導に生かす。
- (3) 「振り返りシート」以外の評価方法でも「主体的に学習に取り組む態度」を丁寧に評価する。

各教科では、次の表のように複数の評価方法を使って観点別評価を評価します。

評価方法	観点1	観点2	観点3	合計	評価方法	観点1	観点2	観点3	合計
期末試験	70	30		100	期末試験	70	30		100
活用力試験		20		20	実技テスト	20	10	10	40
小テスト	10	10		20	提出物		30	30	60
振り返り(授業・試験後)			30	30	振り返り			30	30
提出物		10	40	50	授業観察		20	20	40
授業観察		10	10	20					
合計	80	80	80	240	合計	90	90	90	270
各観点比率	33%	33%	33%	100%	各観点比率	33%	33%	33%	100%

特に、「振り返りシート」を評価する際には、例えば次のように評価します。

十分満足できる：理解できたことに加えて、理解するためにどんな工夫をしたかなども記述している。  
 おおむね満足できる：理解できたことやできなかったことなど自分の現状のみの記述となっている。  
 努力を要する：学習内容を理解できておらず、感想などしか記述していない。

そして、このように評価された3つの観点別評価をトータルして、最終的に評定（5段階評価）にしています。

観点別	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	○何を理解しているか ○何ができるか	○理解していること、できることをどう使うか	○粘り強く取り組んでいるか ○自らの学習を調整しているか
A (80%以上), B (50%以上 80%未満), C (50%未満)			

3つの観点別評価を同じ割合で  合計し、5段階評価にします。

評定	5 (90%以上), 4 (80%以上 90%未満), 3 (50%以上 80%未満) 2 (20%以上 50%未満), 1 (20%未満)
----	---

生徒の学習状況は、様々な評価方法を使って、丁寧に見取るようにしています。そのため、「期末試験は83点だったから、評定は『4』はあるはず。」とは限りません。通知表も一部変更されていますので、詳細は期末懇談会で学級担任にご確認ください。

教科の学習の記録			
教科	観 点	1 学期	
		評価	評定
国語	知識・技能	A・B・C	5・4・3・2・1
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		

